

経済学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
224	経済学演習 (藤森頼明)	通年	3年以上：4単位	藤森 頼明 政政・経演・国演

副題
Subtitle
資本理論の総合的研究 - 経済構造の現在と未来

授業概要
Course Description
生産と分配を巡る問題の研究を課題とする。
最近の世界恐慌の事態は、市場行動を基礎とする経済理論の失敗をも意味している。これに対し、経済を構造の側面から分析する理論として、Marx的な経済理論がある。本演習では、Marxの発想を基礎として、現代経済をより深く理解すると共に、経済の未来像を議論することを大きな目標とする。
Marxの理論は、価格理論、成長理論、経済循環論、恐慌論、その他、広範囲に及ぶものであるけれども、それを経済構造に基礎をおく理論と捉えれば、想像以上に統計データ等との親和性も高く、現代の経済をより深く理解するのに有効である。
演習では、区切りの良い箇所を、随時小論文等の作成指導を行う。

授業の到達目標
Objectives
「標準的経済学では経済現象を説明できない事」ヲ認識スル。
「Marx経済学の大枠」ヲ理解スル。

授業計画
Course Schedule
第1回：導入
第2回 - 第10回：経済理論の議論に必要な基礎数学の演習。
第11回 - 第29回：経済理論の基本図書を選択して輪読。基礎数学等の復習を随時含む。
第30回：要約

教科書
Textbook(s)
最近、数年間で取上げたものは、J・ソロス『グローバル資本主義の危機』、幸島祥夫『バランスシートによる日本経済分析』、浜田浩児『93SNAの基礎』、等がある。2005年度はD・K・フォーリー『成長と分配』を使用している。2006年度は日本経済の産業関連表を用いた分析をテーマとした。その他、微分方程式の応用、線形代数の応用に関連する入門水準の参考書を使用した。

参考文献
Reference Book(s)
開講時に指示する。下記関連URLをも参照の事。

評価方法 Evaluation	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	50 %	
平常点評価 Class Participation	50 %	
その他 Other	%	

備考
Note
ゼミナールの概要については、関連URLの該当箇所をも参照の事。

関連URL
URLs for References
<http://www.fujimori.cache.waseda.ac.jp>